

『神の慈しみに生きる』 ヨハネの福音書15章4～12節 2017.4.30(聖日礼拝説教より)

『父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。』

ヨハネの福音書15章9節

人が神と共に住み、その愛に生きる！この当たり前のことが私たちはわからない！だから聖書を通して神を知り、その愛を思い出し、繰り返し悔改めて、神に立ち返ることが必要である！

❶**キリストにとどまった人たち**…アンデレ&ヨハネ、取税人ザアカイ、エマオの途上にあつた2人の弟子…らは、たった一晩イエス様と交わり、真理に目が開かれ、大きく変えられた…ならば、日々主と交わる者は、どんなに祝福されることか！キリストにとどまる者への約束は3つ！15:5『**多くの実を結び**』、15:7『**祈りがかなえられ**』、15:11『**喜びに満たされる**』。「とどまりなさい」は不定過去命令形(一回の決心が、ずっと続く状態への命令)。イエス様と一緒に生きていく！と人生のどこかで決心し、その後ずっと親しく交わること！ここで弟子たちに語るイエス様は、十字架直前！全てが「遺言」(最も伝えたいメッセージ)！『わたしにとどまりなさい(わたしから離れちゃダメ)！』という命令は、危機的な状況にある私たちへの神の叫び！『救い』とは『神の怒りから』の救い！あなたの全ての罪を身代りに背負い、罪も罰も滅びも永遠の死も全て滅ぼされたイエス様を信じる以外に、罪と悪を徹底的に滅ぼす、正しく聖い神の怒りから逃れる道はない！

❷**救いにとどまり続けよ**…主は、神と人の関係を「ぶどうの木とその枝」で説明する。枝は、ぶどうの幹から離れれば実を結ばないばかりか、枯れ、捨てられ、焼かれてしまう(15:6)。最大の問題は、人が自分(枝)だけで実を結べると考えていること！枝には養分、水分、日光、害虫駆除…等々が必要！そもそも私たちは、命も環境も、何もかも与えられてこそ生かされるという当然のことに気づきたい！「イエス様につながる」とは、その言葉につながること(15:7)。試練の時に神の愛にとどまるのは難しい！だからイエス様は『**試みに合わせず、悪よりお救いください**』と祈れと言う。人生最大の試練は、神への信頼を失うこと！どんな問題も、神への信頼があれば恐れなし！神を信頼できない時、人は悪魔の誘惑に堕ちていく！試練の中で、お互いが赦し合い、助け合い、祈り合えれば乗り越えられる！本当の問題は、人生を困難が襲うことではなく、神を信頼して祈れなくなること！
★あなたは、神の怒りから救われているだろうか？ 創り主なる神を敬い、その永遠の慈しみの中で生きておられるだろうか？
『わたしの愛から離れるな！』という救い主の声に、今日応答しよう！